

乙川小150周年記念 校長だより

令和5年 1月25日

半田市立 乙川小学校

発行責任者 木下稔章



【※上の写真は、5年生が八幡屋さんと連携して考案・発売した新商品「乙(おと)オーレ」】

## 「乙川まつりふれあい活動」について

3学期が始まってから、もうすぐ1ヶ月が経とうとしています。子どもたちは、冬休みに力を蓄えて、みんな元気に、毎日学校生活を送ってくれています。

前回の校長だよりでもお知らせしましたが、5年生の学習で八幡屋さんの協力を得て商品化していただいた和菓子「乙(おと)オーレ」がすでに販売されています。商品化されたのは代表グループが考案したものだけですが、今回の活動では5年生のすべての児童が、自分のグループが考えたものを商品化しようと意気込んで、工夫したアイデアをさまざま出してくれたことがうれしかったです。

また、いよいよ来月中下旬に150周年記念最後の行事となる「乙川まつりふれあい活動」が行われます。今回、歴史と伝統ある乙川まつりに直接関わる機会をいただくことができました。子どもたちには、楽しく、充実した時間になるように活動を進めていきたいと思えます。

### 【「ふれあい活動」の参観についてのお願い】

今回の「乙川まつりふれあい活動」は、「乙川まつり」祭礼関係者のみなさまのご協力のもと、乙川小学校の児童が乙川まつりの伝統にふれ、よさや楽しさを感じてもらうために開催を計画しました。

保護者のみなさまにも、子どもたちが乙川まつりを体験する様子をご覧いただきたいと考え、運動場に観覧スペースを設定することにしました。ただし、今回の活動で1,2年生の活動の中心となる体育館および各教室には、児童と祭礼関係者の方々が入ることになります。密を避けるためにも、体育館および教室への保護者のみなさまの入場は控えさせていただきますので、ご了承ください。

また、運動場の密を避けるために、保護者以外の一般の方々につきましては、入場を控えさせていただきますので、ご理解をいただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。



# 乙川まつりについて

私自身、乙川地区への赴任が初めてで、これまでに「乙川まつり」の名前は聞いたことはありましたが、詳しい内容については、ほとんど知りませんでした。そこで、今回は写真資料で乙川まつりに関連した、伝統的な雰囲気や盛り上がりのイメージを広げてみたいと思います。

※今回の資料は、「[尾張の山車まつり \(dashi-matsuri.com\)](http://dashi-matsuri.com)」よりご提供いただいています。



四山（浅井山・殿海道山・南山・西山）が勢ぞろいすると、とても迫力があります。また、山車には、精巧な彫刻が施されていて、山車ごとに題材が違っているので、それを見るのも楽しいと思います。



「乙川村山車祭礼絵図(1755)」に4輛の山車の先頭を行く獅子が描かれているのが、向山の神楽獅子です。獅子の頭を収める獅子館があり、獅子館の高いところに設置された太鼓にとびつくようにして叩く、「とびつき太鼓」も見どころの一つとなっています。



乙川まつりでは、乙川八幡社に山車を曳き込む際に山車の「坂上げ」が行われます。力と気持ちを合わせて、急な坂を力強く曳き上げる様子は、迫力満点で見ると人々を楽しませてくれます。まつりでは、小さな子たちも楽しそうに山車を曳く姿を見ることができ、乙川まつりが地域から愛されていることを感じることができます。